

Type-R AI 活用・情報管理ポリシー

― AI を活用し、判断は人間が行う ―

1. はじめに

株式会社タイプ・アールは、生成 AI を業務効率化と品質向上を支援する有効なツールとして積極的に活用します。

一方で、生成 AI は万能ではなく、誤った情報や不適切な内容を出力する場合があります。当社は、AI を単なる自動化ツールとしてではなく、人間の知的活動を支援するパートナーとして位置付けています。

AI が生み出した成果物であっても、その採用・利用・発信に関する責任は常に人間が負うものと考えます。

本ポリシーは、当社が AI を安全かつ効果的に活用し、お客様や社会からの信頼を維持するための基本方針を定めるものです。

2. 基本方針

AI は支援者、人間は責任者

AI は調査、整理、分析、文書作成、ソフトウェア開発支援などにおいて高い能力を発揮します。

しかし、最終的な判断と責任は常に人間にあります。

当社では、「AI がそう言ったから」という理由を判断根拠として認めません。

すべての成果物について、担当者自身が内容を理解し、説明できる状態で利用することを原則とします。

ワークスロップを作らない

AI を利用する目的は成果物の量を増やすことではなく、品質と価値を高めることです。

見た目だけ整った低品質な成果物を排除し、お客様や利用者に価値を提供することを重視します。

3. 情報管理

当社は機密情報、個人情報、お客様からお預かりした情報を適切に管理します。

生成 AI の利用においても、契約条件および法令を遵守し、情報漏洩防止に努めます。

4. AI 活用に対する当社の考え方

私たちは AI を積極的に活用します。

しかし、考えること、判断すること、責任を負うことを AI に委ねません。

AI は人間の能力を拡張するための道具であり、最終的な価値を生み出すのは人間であると考えています。

AI は支援者、人間は責任者。

これが当社の AI 活用における基本原則です。

5. おわりに

当社では、本ポリシーに加え、業務内容に応じた詳細な運用ルールおよび技術ガイドラインを整備しています。

必要に応じて、お客様との契約内容や守秘義務契約に基づき個別にご説明いたします。

株式会社タイプ・アール